

【はじめに】当院の血管検査室は、3～4例/年インシデントが発生している。インシデント発生時は改善策も含めレポートにまとめ、部署のリスクマネージャーが確認しスタッフへ周知される。その後は医療安全管理室で検討され、指導を受けるケースもある。しかし、時間の経過とともにインシデントは風化してしまう傾向にある。今回、Pm-SHELL モデルの事例分析手法を用い、インシデントの分析を再度行った。発生事象を細かく分析することの必要性を学んだため報告する。【方法】Pm-SHELL 分析シートを使用し、インシデントの分析を行い改善策が妥当であったか検討。【結果】多方面から情報を集積した結果、分析してみても気付いた点が多数あった。血管検査室におけるインシデントの傾向が分かり、それぞれに関し、対策をとっていった。【まとめ】人はどんなに注意をしても間違いを起こす。間違いを少しでも起こさないように、また起こしてもその影響を最小に抑えるために、インシデントの分析を行う事は大変有用であった。そして、各々が基本動作（ルール）を遵守していくことが医療安全であり、継続できるよう働きかけるのは管理者の義務である。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号